

相の沢牧野



岩手県滝沢市経済産業部農林課

1 概要

- (1) 所在地 岩手県滝沢市鶉飼姥屋敷 108 番地ほか
- (2) 沿革
- | | |
|-----------------|---|
| 昭和 39 年～42 年 | 草地造成 100ha |
| 昭和 40 年 | 供用開始 |
| 昭和 52 年～昭和 55 年 | 草地造成 41.3ha 草地改良 101.6ha |
| 昭和 61 年 | 草地造成 4.6ha |
| 昭和 50 年頃 | 旧岩手県肉牛生産公社から草地 60.5ha を貸借し放牧地として利用（その後返還） |
| 平成 9 年～18 年 | 旧岩手県肉牛生産公社及び全農いわて和牛改良センターから草地 113.7ha 返還され放牧・採草に利用。 |
| 平成 21 年 | 電気牧柵整備、翌年から供用 |
| 平成 22 年～23 年 | 冬季預託施設整備（乳用牛） |
| 平成 23 年 11 月 | 冬季預託開始 |

(3) 面積

・総面積		300ha
放牧専用地	77 牧区	176ha（電牧による小区画化 10ha→2.5ha×4）
採草兼放牧地	10 牧区	46ha
採草専用地	7 牧区	78ha

標高は約 500m から 600m、斜度は 3 度～15 度です。

(4) 放牧頭数（5 月中旬～10 月下旬） 単位：頭

区分	乳用牛	肉用牛	馬	合計
S58 年度	295	297	48	640
H 元年度	—	—	—	685
H 5 年度	330	185	106	593
H10 年度	—	—	—	440
H15 年度	378	233	56	667
H20 年度	329	402	62	793
H22 年度	339	296	45	680
H23 年度	388	236	43	667
H26 年度	363	162	55	580
H27 年度	365	120	46	531
H28 年度	361	116	48	525
H29 年度	379	102	51	532
H30 年度	361	108	48	517
R01 年度	359	113	50	522
R02 年度	383	105	47	535
R03 年度	400	104	50	554
R04 年度	405	87	48	540
R05 年度	420	89	51	560

区分	乳用牛	肉用牛	馬	合計
R06 年度	384	87	50	521

(5) 冬季預託頭数 (平成 23 年 11 月 1 日供用開始)

R07. 3. 31 現在 ※ () 内は各年度における実預託頭数 単位：頭

区分	乳用牛
H23 年度	186
H24 年度	207
H25 年度	213 (260)
H26 年度	205 (264)
H27 年度	203 (260)
H28 年度	198 (241)
H29 年度	203 (228)
H30 年度	197 (232)
R01 年度	195 (233)
R02 年度	198 (233)
R03 年度	200 (234)
R04 年度	196 (227)
R05 年度	199 (230)
R06 年度	200 (226)

※預託期間：4 月～5 月中旬 (放牧開始まで)、10 月下旬 (閉牧後) ～3 月

※使用料：1 日 610 円/頭 (R01. 10. 1～)

(6) 牧野使用料の状況

単位：円 (税込)

区分	12 ヶ月以上	12 ヶ月未満	備考
乳用牛 (放牧)	168	126	H22
	168	168	H23
	200	200	H24
	250	250	R01. 4～
乳用牛 (牛舎預託)	500	500	H23
	600	600	H30
	610	610	R01. 10～
肉用牛	126	105	H22
	168	168	H23
	200	200	H24
	250	250	R01. 4～
馬	168	50	H22
	168	50	H23
	200	50	H24～

(7) 経営上の特徴

(放牧)

- ① 放牧中の人工授精、受精卵移植を実施
(肉用牛は人工授精を市内飼養者のみ※牛伝染性リンパ腫ウイルス陽性牛に限る)
- ② 牛の白血病拡大防止のため分離放牧実施 (平成 29 年度から全頭対象)
- ③ 病害虫防除薬を放牧牛に塗布 (ピロプラズマ病、寄生虫駆虫対策)
- ④ 放牧地への苦土タンカルの散布 (鼓張症防止)
- ⑤ 放牧地への 1 番施肥はしない (放牧牛の排泄物で対応)
(施設飼育：乳用牛)
- ① 人工授精、受精卵移植を実施

2 電気牧柵の整備

- (1) 事業名：平成 21 年度畜産基盤再編総合整備事業
- (2) 事業費工事費計 18,229 千円 (うち電牧 14,423 千円)
 工事雑費 466 千円
 一般管理費 1,305 千円
 事業費計 20,000 千円 (附帯事務費除く)
- (3) 事業量隔障物整備 (電気牧柵) 14,968m (旧 17 牧区 116ha)
 雑用水施設 (牛給水用) 3,288m

3 冬季預託施設の整備

- (1) 事業名平成 22 年度畜産基盤再編総合整備事業 (平成 23 年度 6 月竣工繰越)
- (2) 牛舎等整備
 - ①乳用育成牛舎 2 棟
 A牛舎木造 616 m² (6ヶ月以上12ヶ月程度の牛定数 84 頭)
 B牛舎木造 892 m² (13ヶ月以上出産2ヶ月前程度の牛定数 96 頭)
 - ②堆肥舎 1 棟
 木造 (一部鉄骨) 764 m²
 - ③衛生舎 1 棟
 木造 72 m² (軽微なケガ・病気の牛を収容)
 - ④看視舎 1 棟
 事務所 木造 60 m²
- (3) 機械等整備
 - ①機械導入 5 台
 トラクター、ロールカッター、ホイールローダー、ダンプトラック、マニュアルフレック
 - ②機械格納庫 1 棟 鉄骨 186 m²

(4) 事業費 (H22 年現年及び H23 繰越明許) 単位：千円

区分	事業費	補助金	一般財源	
				うち起債
畜舎整備	192,792	93,681	99,111	98,800
機械関係	33,049	0	33,049	33,000
備品関係	853	0	853	0

その他経費	444	0	444	0
合計	227,138	93,681	133,457	131,800

(5) その他

平成23年3月11日に発生した、東日本大震災により建築資材の搬入、工事関係・通勤関係の燃料確保の影響が及んだことからH23年度に繰越して事業を実施した。

電気牧柵整備状況



冬季預託施設 (牛舎)

